



2026年6月10日
第216号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

「統括センターにおける業務執行体制の見直しについて」情報提供を受ける

横浜地本は5月21日、横浜支社より、表題の情報提供を受けました。内容は2025年12月に提案を受けていた提案について、検討が進んだ現時点の考え方についてとなります。

2025年12月に受けていた提案内容について

実施箇所	川崎統括センター（鶴見駅、南武線オフィス、鶴見線オフィス）
実施内容	川崎統括センター（現呼称）において、エリア内の乗務業務の一元化を図る。 鶴見線オフィスの一部業務は、川崎統括センターの駅が担う。
実施日	2027年春
その他	(1)必要な周知・教育および設備整備を実施する。 (2)具体的な実施日および箇所体制については別途提案する。 (3)鶴見線オフィスの運行管理業務は、横浜指令室（仮称）へ移管する。

進展した検討内容について

- 乗務業務を一元的に行うため、主たる出勤箇所を「南武線オフィス」とする検討を進める。
- 鶴見線乗務時は、南武線オフィスから便乗で向かう。乗務交代は鶴見駅を基本とする。
- 南武線オフィス全乗務員を対象に、南武支線の乗務訓練を9月ごろから開始する。
- 乗務業務の一元化後、鶴見線と南武線の両線区に乗務するようになるが、必要な教育と線見が修了するまでは「2交番」で運用していく。将来的には「1交番」の運用をめざす。

<主なやりとり>

組合側	会社側
それぞれの乗務区の内勤者も一元化していくのか。	そのように考えている。
弁天橋構内での車両入換業務はどうするのか。	変わらず行っていくと考えている。
鶴見線内の回金業務はどこが担当するのか。	統括センター内の駅で対応を行っていく。
鶴見駅で乗務交代を行うとしているが、鶴見駅の休憩室についてはどのように考えているのか。	これから検討していく。必要な設備は整備していく。
一元化後、2交番にするとあるが、どのように運用していくのか。	検討中である。月単位で回すなど想定している。

※横浜地本情報 No.109（2025年12月30日発行）での労使議論についても参考にお願いします。

エリア内の乗務員区の一元化の考え方が徐々に明らかに仲間とともに職場議論を深め、団体交渉につなげていこう！